

第1次試験科目合格パターン例

ここに記載する科目合格のパターンは、一例です。不明な点は、お問い合わせ下さい。

【合格基準】

- ① 第1次試験の合格基準は、総点数の60%以上であって、かつ1科目でも満点の40%未満のないことを基準とし、試験委員会が相当と認めた得点比率とします。
- ② 科目合格基準は、満点の60%を基準として、試験委員会が相当と認めた得点比率とします。

1. 科目合格による免除が認められるパターン例

- ① 科目合格の場合は、翌年度と翌々年度の第1次試験を受験する際、申請により当該科目が免除されます。
- ② の掛かった年に第2次試験を受験することができます。

○：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

（科目合格による免除が認められるパターン例1）

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	×	×	○		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	○	免除	免除		
F 経営情報システム	×	×	○		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	* 1	* 2	* 3		

* 1 1年目：7科目受験して3科目合格

【合格基準の適用例】

- ・7科目全体では合格基準①を満たしていないので、第1次試験不合格。
- ・受験科目A、D、Eについては、科目合格基準の②を満たしているため、科目合格。

* 2 2年目：3科目免除申請のうえ、4科目受験して2科目合格

【合格基準の適用例】

- ・受験科目4科目全体では合格基準①を満たしていないので、第1次試験不合格。
- ・受験科目C、Gについては、科目合格基準の②を満たしているため、科目合格。

* 3 3年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

【合格基準の適用例】

- ・受験科目2科目全体で合格基準①を満たしたので、第1次試験合格。

（科目合格による免除が認められるパターン例2）

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	×	×	○		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	他資格免除	他資格免除	他資格免除		
F 経営情報システム	×	×	○		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補 足 説 明	* 1	* 2	* 3		

* 1 1年目：他資格等保有による1科目免除申請のうえ、6科目受験して2科目合格

* 2 2年目：他資格等保有による1科目免除申請と科目合格による2科目の免除申請のうえ、4科目受験して2科目合格

* 3 3年目：他資格等保有による1科目免除申請と科目合格による4科目の免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例3〉

科 目	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除	○	
B 財務・会計	×	×	○	○	
C 企業経営理論	×	○	免除	○	
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除	○	
E 経営法務	○	免除	免除	○	
F 経営情報システム	×	×	○	○	
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除	○	
補足説明	* 1	* 2	* 3	* 4	

* 1 1 年目：7 科目受験して3 科目合格

* 2 2 年目：3 科目免除申請のうえ、4 科目受験して2 科目合格

* 3 3 年目：5 科目免除申請のうえ、2 科目受験して2 科目合格 これにより第1 次試験合格

* 4 4 年目：7 科目受験して第1 次試験合格。2 回目の第1 次試験合格

〈科目合格による免除が認められるパターン例4〉

科 目	1 年 目	2 年 目	3 年 目	4 年 目	5 年 目
A 経済学・経済政策	○	×	免除		
B 財務・会計	×	○	免除		
C 企業経営理論	×	○	免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	×	免除		
E 経営法務	○	×	免除		
F 経営情報システム	×	○	免除		
G 中小企業経営・中小企業政策	×	○	免除		
補足説明	* 1	* 2	* 3		

* 1 1 年目：7 科目受験して3 科目合格

* 2 2 年目：7 科目受験して4 科目合格 1 年目に科目合格した3 科目の免除申請をしていないため、第1 次試験合格にはならない。

* 3 3 年目：7 科目すべてを免除申請 これにより第1 次試験合格

（この場合は、3 年目の第1 次試験受付期間内に、全科目免除を申請のうえ、受験申込手続きを行うことが必要です。）

2. 科目合格による免除が認められないパターン例

- ① 第1次試験に合格すると、それまでの科目合格による科目免除の申請資格はなくなります。
- ② 「免除」の文字の上の×印は、免除申請できないことを示しています。
- ③ の掛かった年に第2次試験を受験することができます。
○：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

〈科目合格による免除が認められないパターン例1〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○	免除	免除		
B 財務・会計	○	免除	免除		
C 企業経営理論	×	○	免除	免除	
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○	免除	免除		
E 経営法務	×	○	免除	免除	
F 経営情報システム	×	×	○	免除	免除
G 中小企業経営・中小企業政策	○	免除	免除		
補足説明	* 1	* 2	* 3	* 4	* 5

* 1 1年目：7科目受験して4科目合格

* 2 2年目：4科目免除申請のうえ、3科目受験して2科目合格

* 3 3年目：6科目免除申請のうえ、1科目受験して合格 これにより第1次試験合格

* 4 4年目：3年目に第1次試験合格となったため、2年目または3年目に合格した科目の免除申請はできない。

* 5 5年目：3年目に第1次試験合格となったため、3年目に合格した科目の免除申請はできない。

〈科目合格による免除が認められないパターン例2〉

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
A 経済学・経済政策	○		免除		
B 財務・会計	○		免除		
C 企業経営理論	○		免除		
D 運営管理（オペレーション・マネジメント）	○		免除		
E 経営法務	○		免除		
F 経営情報システム	○		免除		
G 中小企業経営・中小企業政策	○		免除		
補足説明	* 1		* 2		

* 1 1年目：第1次試験合格

* 2 3年目：1年目に第1次試験合格のため免除申請はできない。

3. 第1次試験の合格とならないパターン例

- ① 3年目・4年目・5年目のように、免除申請を行わず、受験して不合格となった場合は第1次試験の合格にはなりません。
- ② の掛かった年に第2次試験を受験することができます。
- ：受験して合格 ×：不合格または欠席 免除：申請により科目免除

科 目	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
A 経済学・経済政策	○	免除	○×	○	免除	○	
B 財務・会計	○	免除	免除	○	免除	免除	
C 企業経営理論	×	○	免除	免除	○	免除	
D 運営管理 (オペレーション・マネジメント)	○	免除	免除	○	免除	免除	
E 経営法務	×	○	免除	免除	○	免除	
F 経営情報システム	×	×	○	○×	免除	○	
G 中小企業経営・中小企業政策	○	免除	免除	○	○×	免除	
補足説明			* 1	* 2	* 3	* 4	

- * 1 3年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して1科目合格 1年目に科目Aは合格しているが、免除申請をしていない（○×部分）ため、第1次試験合格にはならない。
- * 2 4年目：2科目免除申請のうえ、5科目受験して4科目合格 3年目に科目Fは合格しているが、免除申請をしていない（○×部分）ため、第1次試験合格にはならない。
- * 3 5年目：4科目免除申請のうえ、3科目受験して2科目合格 4年目に科目Gは合格しているが、免除申請をしていない（○×部分）ため、第1次試験合格にはならない。
- * 4 6年目：5科目免除申請のうえ、2科目受験して2科目合格 これにより第1次試験合格